



平成21年度水道基礎講座（第1回：5月13日～5月15日、第2回：5月27日～29日）

水道事業体、賛助会員の新規採用者及びこれに準ずる方々239名（第1回119名、第2回120名）の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「水道システム概論Ⅰ～Ⅵ」について研修を実施した。



第60回全国水道研究発表会（5月20日～22日）

さいたま市の大宮ソニックシティにおいて全国から約1,500名の参加を得て盛大に開催された。開会式では開催地を代表して、大塚さいたま市副市長、日本水道協会を代表して御園専務理事、来賓として粕谷厚生労働省水道課長、坂本日本水道工業団体連合会専務理事より挨拶があった。



大塚さいたま市
副市長



御園日本水道協会
専務理事



粕谷厚生労働省
水道課長



坂本日本水道工業
団体連合会専務理事

続いて、「水道広域化の展望」をテーマとして、滝沢智東京大学大学院工学系研究科教授の座長のもと、高橋清一岩手中部広域水道企業団事務局長、大平晃司東京都水道局多摩水道改革推進本部調整部長、島崎肇さいたま市水道局給水部次長、佐藤裕弥(株)浜銀総合研究所地域経営研究室長を講師に、水道フォーラムが開催された。

また、会期中本会のPRコーナー、日本水道工業団体連合会による水道用品展示会が開催され、多数の見学者で賑わった。

研究発表は10部門に分かれて行われ、発表数は事務21、計画16、水源・取水11、浄水53、

導・送・配水63、給水装置13、機械・電気・計装13、水質58、リスク管理・災害対策28、英語8、計284編の発表が行われた。



開会式



水道フォーラム



研究発表の様子



大宮ソニックシティ

第36回水道 GLP 認定委員会（5月26日）

沖縄県企業局の水道 GLP 認定について審議を行い、審議の結果、水道 GLP 認定を決定した。また、さいたま市水道局給水部水質検査課（認定番号：JWWA-GLP025）、株式会社イズミテック（認定番号：JWWA-GLP026）のサーベイランス結果について審議し、水道 GLP 認定維持を決定した。

第876回会誌編集委員会（5月28日）

本誌8月号の編集方針、投稿原稿の審査並びに水道協会雑誌の編集企画について審議した。

全国水道企業団協議会第53回総会（5月28日～29日）

小樽市の小樽市民センター（マリンホール）において、全国水道企業団協議会第53回総会が開催された。

第1日目：開会式では、開催地代表の石狩東部広域水道企業団企業長の中島恵庭市長、全国水道企業団協議会の尾高会長代行（神奈川県内広域水道企業団企業長）の挨拶の後、来賓より祝辞があった。



中島石狩東部広域
水道企業団企業長
（恵庭市長）



尾高会長
（神奈川県内広域水道
企業団企業長）



柏谷厚生労働省
水道課長



井上総務省公営企業
経営企画室長



稲垣北海道環境
生活部長



御園日本水道協会
専務理事



坂本日本水道工業団体
連合会専務理事

次に、全国水道企業団協議会会長職不在に伴い役員改選を行い、役員会からの会長推薦動議を受け討議した結果、満場一致で、神奈川県内広域水道企業団の尾高企業長が新会長に就任した。

続いて表彰式が行われ、はじめに感謝状が全国水道企業団協議会前会長の三浦大助氏に贈呈され、次に全国水道企業団協議会会長表彰として19名の受賞者（功労賞5名、特別賞14名）に対し表彰状と記念品が贈られた。

休憩後、会議が再開され、「会務報告」の承認を得たのち、「平成20年度歳入歳出決算」、「平成21年度歳入歳出予算（案）」の各議案について審議の結果、原案のとおり決定した。

その後、会員提出問題討議に入り、問題1「水道事業に対する財政支援の拡充及び補助要件の緩和について」、問題2「水道施設の更新・再構築事業に対する新たな財政支援体制の確立について」、問題3「水道施設の震災対策事業等に対する行財政支援について」、問題4「公的資金補償金免除線上償還制度等の継続実施について」、問題5「新型インフルエンザ対策の強化について」が一括上程され、討議の結果、全ての問題を関係当局に陳情することと決定した後、関係省より意見発表があった。

次に、次期総会開催地については、東北地区協議会の八戸圏域水道企業団を開催地とすることが決定した。

第2日目：北海道地区の水道施設等を視察した。



第133回水道事業管理者協議会（6月2日）

任期が改まった最初の会議のため、まず、座長・副座長の選任を行い、座長に松山市の渡邊滋夫公営企業管理者、副座長に山形市の芳賀賢二上下水道事業管理者が選出された。

事務局より報告事項として、「水の安全保障に関する報告書」、「地震等緊急時対応の手引き」、「地下水利用専用水道等に係る水道料金の考え方と料金案」、「水道事業における広報マニュアル」について報告を行った後、(1)簡易水道事業の高料金対策に要する経費の繰り出し基準について、(2)簡易水道事業統合計画策定に当たっての疑義について、(3)資産維持費の算入規模と更新財源の確保策について、(4)グループホームにおける料金徴収について、それぞれ意見交換が行われた。



第174回常任理事会（6月3日）

御園専務理事が議長となり、報告事項1「水道の安全保障に関する検討会報告書の送付並びに^{いのち}生命の水道・ニッポン運営委員会の設置について」、報告事項2「第51回水道週間の実施について」、報告事項3「安全でおいしい水道水推進運動の活動報告について」、報告事項4「地下水利用専用水道等に係る水道料金の考え方と料金案について」、報告事項5「水道事業における広報マニュアルについて」、報告事項6「第3回 IWA-ASPIRE 会議への参加について」がそれぞれ事務局より報告された。

続いて議案の審議に入り、第1号議案「平成22年度水道関係予算の要望について」、第2号議案「第61回全国水道研究発表会の開催地及び開催期日について」、第3号議案「役員退任の取扱いについて」の3件について事務局から諮り、審議の結果、原案のとおり決定した。

なお、第2号議案により、第61回全国水道研究発表会は平成22年5月に新潟市において開催されることが決定した。

会議終了後には、第1号議案の議決に基づき、常任理事全員により厚生労働省、総務省に対して陳情を行った。



第1回 ^{いのち}生命の水道・ニッポン運営委員会（6月3日）

平成20年6月に設置した「水道の安全保障に関する検討会」において、今後の我が国における水道事業の運営基盤をどのようにして強化していけばよいのか、また、世界の水の安全保障に資する国際貢献のあり方はどうあるべきかについて、平成20年度末に報告書を取りまとめた。

また、同検討会では、政府与党研究会の決議により設立された分野横断型の政策提言機関「水の安全保障戦略機構」に対し、水道界の意見・要望を報告するチーム「^{いのち}生命の水道・ニッポン」を立ち上げることを決定した。

本委員会は、検討会の決定を踏まえ、チーム「生命の水道・ニッポン」の運営、並びに検討会報告書の提言実現に向けて活動を行うものである。なお、運営委員については、引き続き検討会委員にご協力いただくことを承りいただいている。

第1回委員会では、協議事項として正副委員長との互選についてが審議され、本会御園専務理事が委員長に、東京都の東岡公営企業管理者が副委員長にそれぞれ選出された。



第632回抄録委員会（6月4日）

本誌平成21年9月、10月号に掲載する外国文献の抄録内容について審議した。

第148回水道統計編纂専門委員会（6月5日）

人事異動による委員の変更により、副委員長が不在となっていたことから、始めに議題(1)「副委員長の互選」を上程し、横浜市水道局経理課課長補佐の佐藤委員が副委員長に選出された。

次に議題(2)「水道統計の経年分析（平成19年度）」について上程し、事務局より作業分担について説明があり、事務局案のとおり了承された。

続いて議題(3)「平成20年度水道統計調査CD-ROM」について上程し、事務局より説明があり、審議の後、事務局案のとおり了承された。

